

社会科指導案

平成17年10月26日（水）第3校時

5年松組（教室）指導者 吉野泰広

I 単元名「わたしたちの生活と工業生産」

II 考察

1 児童の実態（男子19名、女子19名、計38名）

本学級における児童の社会科の実態をみると、「社会科見学は楽しい」という児童が多い反面、「調べ方がわからない」「何を調べたらいいかわからない」という児童が少なくない。5年生という段階に対して、学び方や調べ方が十分身に付いているとはいえ、社会科学習に対する「興味・関心・意欲」も決して高いとはいえない。これは小学校4年生で、社会科の興味関心がもっとも低くなるという全国調査の結果（5年生になったの調査：NR T）とも一致している。理由としては、学び方・調べ方が身に付いていない段階で、調査・見学、体験による調べ学習が多くなるためとも思われる。

2 教材観

社会科は、社会や社会事象についての認識と公民的資質の育成を目的としている。社会のさまざまな問題を取り上げて考えたり、社会事象についてさまざまな概念を理解させたり、人間・社会に関わる態度や能力の育成を図ったりする。だが、高度情報化社会と変革の時代を迎え、それに伴い子どもたちが立ち向かう対象としての社会や社会的事象は日々変化し、ますます広がり複雑さを見せている。したがって、子どもの単なる知識の習得や表面的な理解では社会を捉えられなくなっていて、変貌する社会は、子ども自身が問題意識をもって意欲的に取り組むことを難しくしてきている。これは学年が進めば一層顕著であり、学習対象の広がりとともに、扱う社会的事象の要素や意味も複雑になっている。

そこでこれからの社会科授業では、社会の変化に自ら対応する能力や態度を育てるために、学び方や調べ方を身に付けることを一層重視する必要がある。この観点からの学習指導の改善が求められている。その実現には、子どもが自ら問題を解決するために、自ら情報を収集し、それらを活用・整理する問題解決的な学習活動を構成することが大切になる。そして、子どもの問題意識を引き出す教材を吟味するとともに、資料などの収集・活用・整理の場を計画に位置付けることも必要である。そのためには、地図帳や統計資料などの積極的な活用に加え、学校図書館や公共図書館、コンピュータの活用などを計画的に行い、子どもが学び方や調べ方を身に付けるように工夫していくことが肝要である。

子どもが学び方や調べ方を身に付けることは、子どもが主体的な学習を展開できるようになることと、表裏一体の関係である。まずは、身近な社会的事象における「調査・見学、体験」などの具体的な活動を追究の起点として、児童の関心・意欲を高めていく。そして学び方や調べ方を身に付けるために、具体的な活動に基づく多様な表現活動を取り入れていきたい。その過程では、調査したことや見学したことを自由な発想でまとめて発表・交流することを重視する。小さな交流や発表を通して、自分が調べたことが明確になるだけでなく、さらに調べなければならない点も明らかになる。小グループ内での発表を繰り返しながら級友の多様な追究方法（紙芝居、ディスプレイ型ポートフォリオ、Web新聞づくりなど）にふれることもできる。また、発表を通し互いに情報の共有することもできる。この共有は情報の共有だけでなく、学び方・調べ方の共有ともなるはずである。

これからの社会科教育に要求されていることは、一人の人間として社会に対してどうかかわり、社会生活のなかでどう生きていくかである。それは、自己の生き方を主体的に考え、社会のなかで望ましい行動ができる児童の育成にあると考える。まさに、主体的に生きる子供の育成をめざす社会科でなければならない。この視点から、「調査・見学、体験などの具体的な活動に基づく多様な表現活動」を取り入れることは、主体的に調べて考える学習に効果的であると考える。本主題を設定した。

3 教材の系統

< 第3, 4学年 >

- ・ 地域学習の方法の学習
- ・ 地域観察の、調査、表現活動の学習
- ・ 地域の課題の発見
- ・ 身近な地域の事象の広域的関係と生活向上の組織活動
- ・ 県の特徴と他地域や外国との関連



< 第 5 学年 >

- ・我が国の産業の現状の把握と国民生活との関連
- ・国土の様子、環境の保全と資源の重要性
- ・単元を通しての国土理解の重視



< 第 6 学年 >

- ・国家・社会の発展に大きく貢献した先人の業績や優れた文化を中心とした歴史学習
- ・我が国と関係の深い国の理解
- ・国際社会の中における我が国の役割と課題

Ⅲ 単元目標および評価規準（報告書を参照）

V 指導計画（報告書を参照）

VII 本単元の学習（全14時間）

< 第 1 校時 >

1 ねらい

自分の身の回りから工業製品を見付け、自分たちの生活と工業製品がどのように結び付いているのか関心をもつことができる。

2 展開

過程	学習活動	時間	支援及び指導上の留意点	評価項目（方法）
つかむ	○身の回りにある工業製品を見付け、工業製品を黒板に書いてみる。 ○工業製品を黒板に書いてみる。	15	○身の回りで使われていない工業製品を家庭で見つけ、工業製品を黒板に書くようにする。 ○身の回りを見つければ、工業製品を黒板に書くようにする。	
ふかめる	○家庭の中心にある工業製品について、その役割や生活にどう関わっているかを話し合う。 ○工業製品が生活にどう関わっているかを話し合う。	20	○同じ工業製品でも、用途や大きさ、色などが異なるようにする。 ○自分たちの生活にどう関わっているかを話し合う。	○工業製品が生活にどう関わっているかを話し合う。
まとめる	○工業製品の生活にどう関わっているかを話し合う。	10	○工業製品の生活にどう関わっているかを話し合う。	

< 第 2 校時 >

1 ねらい

自動車のパンフレットや新聞の広告などをもち寄り、気付いたことを話し合わせるにより自動車づくりについて関心をもつことができる。

2 展開

過程	学習活動	時間	支援及び指導上の留意点	評価項目（方法）
つかむ	○自動車のパンフレットや新聞の広告をながめる。	10	○自動車の外見や内装、支用する色や大きさ、室内の色や大きさ、形や用途などについて話し合う。	
ふかめる	○パンフレットや新聞の広告をながめ、気付いたことを話し合わせる。	20	○自動車の外見や内装、支用する色や大きさ、室内の色や大きさ、形や用途などについて話し合う。	

らえるように支援する。

<第5校時>

1 ねらい

自動車をつくる関連工場が、自動車工場の注文に従って仕事を円滑に進めるためにいろいろな工夫をしていることをとらえることができる。

2 展開

過程	学習活動	時間	支援及び指導上の留意点	評価項目(方法)
つかむ	○販売店の見学や車かを ○資料、でき、発表する。	10	○自動車の部品調べる ○たつる状態のどこに。	
ふかめる	○自動車の様子、まとめる。 ○豊田市の工場と	25	○自動車のシートの調 ○周分高るき	
まとめる	○自動車の様子、まとめる。 ○豊田市の工場と	10	○自動車の部品調べる ○たつる状態のどこに。	

<第7校時>

1 ねらい

人と環境にやさしい自動車を目指して、どのような研究や開発がなされているのかを調べ、まとめることができる。

2 展開

過程	学習活動	時間	支援及び指導上の留意点	評価項目(方法)
つかむ	○自動車の持っている問題点を発表する。	10	○排気ガスによる大気汚染 ○れや故の無駄な点を調べる。	
ふかめる	○自動車の使用場を話し合う。	20	○環境にやさしい車や乗用車 ○人の安全を考慮する。	
まとめる	○これからの自動車の工夫と努力発表する。	15	○本論文や写真のりす ○トク夫にう	

<第8校時>

1 ねらい

自動車工場を見学するにあたり、自分の学習課題を設定し、自動車がどのようにつくられているか、見学前に自分の調べたいことを整理する。

2 展開

過程	学習活動	時間	支援及び指導上の留意点	評価項目(方法)
つ	○教科書での自動		○見学の視点を工程・部品	

1 ねらい

自動車工場を調査・見学・体験したことをもとにして、自分で選択した表現方法でまとめる。

2 展開

過程	学習活動	時間	支援及び指導上の留意点	評価項目(方法)
つかむ	○見この学び ○た自分で	10	○自分で見だす ○自分で見だす	
ふかめる・まとめる	○見この学び ○た自分で	80	○想わの○はう ○合すや組 ○合り章	○自・こ、表 動見と自現 車学を分方 工・もで法 場体と選で を験に扱ま 調しししと

<第13・14校時>

1 ねらい

自分で選択した表現方法でまとめたものを小グループで交流して自分の考えを深めることができる。

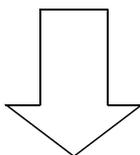
2 展開

過程	学習活動	時間	支援及び指導上の留意点	評価項目(方法)
つかむ	○自分がまとめた 課題同士でグル ープになる。	10	○同じ課題を ○同士の4、5 人グループ	
ふかめる	○自分がまとめた 課題を発表する。	60	○課題を解決す ○分はどのよう に発表するた めにかかす	
まとめる	○付もの付 ○を分に良	20	○付のす友 ○分や友達 のよ	○自現も 分方の意 法を自分 で小交分 択ま交流 しとす考 ため一考 るえが 【思・判】 (作品・ワークシート)

自動車のパンフレットや広告をながめて気づいたことを書きましょう。

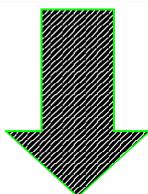
自分が発表して気づいたことや友達の発表を聞いて、わかったことを書きましょう。

上の①や②の考えをもとにして



●自動車販売店を見学するときの、あなたの課題は何ですか。

自動車販売店を見学して自分の課題について気づいたこと・わかったこと・新しく調べてみたこと
なったこと書こう。



見学して、わかったことをまとめよう。

ワークシート3 教科書を読んで下の表を完成させよう。 5年 組 番 氏名

組み立て	部品	輸送	技術開発	環境
<p>1 ()</p> <ul style="list-style-type: none"> • () を折り曲げる、打ち抜く。 • 自動車の ()、ゆか、ドアをつくる。 • () は、愛知県内の 東海市や広島県福山市などの () から運ばれる。 <p style="text-align: center;">↓</p> <p>2 ()</p> <ul style="list-style-type: none"> • 1 でできた部品を () して車体を仕上げる。 • ほとんど () を使って仕事をする。 <p style="text-align: center;">↓</p> <p>3 ()</p> <ul style="list-style-type: none"> • 車体は () の希望により色をぬりわける。 • 車体が () ように 何度も () する。 <p style="text-align: center;">↓</p> <p>4 ()</p> <ul style="list-style-type: none"> • () m 続くコンベヤーが車体をのせたまま、1 分間に () m から () m の速さで動く。 • 取り付けられる部品 () () () () • このような仕事の進め方を () という。 • 部品は別の () で作られ、組み立て工場に運ばれる。 <p style="text-align: center;">↓</p> <p>5 検査</p> <ul style="list-style-type: none"> • () や () の検査を受けて完成。 	<p>1 自動車 1 台に 約 () 個の部品</p> <p>2 自動車を効率的につくれる理由 (2つ)</p> <ul style="list-style-type: none"> • () がたくさんある。 • () をもとに部品をつくる。 <p>3 小さな部品は市内の別の () でつくられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> • シートの部品は () もある。 <p>4 部品をつくる工場働く人の喜びとは何か。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 	<p>1 シートに使われる部品は愛知県内や () 県や () 県などでつくられ () で豊田市にあるシート工場へ運ばれる。</p> <p>2 組み立てられたシートはさらに () で自動車工場へ運ばれる。</p> <p>3 完成した自動車は、() で日本全国へ、() を使って外国へ運ばれる。</p> <p>4 部品が速く正確に運べるようになった理由をあげよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> • () やいっばんの () が整備されたから。 <p>5 部品を運ぶ人が安全に気をつけているのはなぜですか。(2つ)</p> <ul style="list-style-type: none"> • • 	<p>1 ハイブリットカーとは、() と () を使って () のよい走りをする車のこと。</p> <p>2 ハイブリットカーは、() の使用量や排出する () の量がへり、() のことを考えた車である。</p> <p>3 ハイブリットカーがそのほかに工夫したところをあげよう。(2つ)</p> <ul style="list-style-type: none"> • • 	<p>1 環境にやさしい車には、() で走る車もある。水素を燃料に使い、() しか排出しない車である。。</p> <p>2 部品のほとんどが () できる車をつくっている。</p> <p>3 高齢者や体の不自由な人に便利な車とは何か。(2つ)</p> <ul style="list-style-type: none"> • • <p>4 そのほかに環境のことや使う人のことを考えた開発をあげよう。(2つ)</p> <p>○排出ガスなし</p> <p>()</p> <p>○道路の混雑解消</p> <p>()</p>

高所作業車製造工場を見学して自分の課題について気づいたこと・わかったことを書こう。



見学して、わかったことをまとめよう。

